

天下ノ諸氏及ビ歸化ノ諸蕃ニ勅シテ、各、其本系帳ヲ進メシメ給ヒ、陽成天皇ノ元慶五年ニハ諸國神社ノ祝部氏人ノ本系帳ヲ三年ニ一進セシムル制ヲ定メ給ヘリ、後世徳川氏ノ時モ諸侯ヲシテ各、其家譜ヲ獻ゼシメ、或ハ吏員ヲ置キテ、麾下ノ士ノ系圖ヲ查覈セシメタリ、又古ハ勸王世所アリテ、皇胤ノ系統ヲ明ニシ、撰氏族志所ヲ設ケテ、氏族ノ譜牒ヲ編修セシム、孝謙天皇ノ朝、勅シテ名儒ヲ聚メテ、氏族志ヲ撰バシメ給ヒシガ、果サズ、桓武天皇ノ朝、亦勅シテ諸氏ノ本系ヲ編纂セシメ給ヒシカドモ、中道ニシテ崩御アリ、嵯峨天皇ニ至リ、前業ヲ紹ギ、萬多親王等ニ勅シテ、之ヲ大成セシメ給フ、名ケテ新撰姓氏錄トイフ、蓋シ唐太宗ノ氏族志ヲ修シ、高宗之ヲ改メテ姓氏錄ト爲シ、ニ倣ヒシモノナルベシ、後世徳川幕府モ亦屢、諸家ノ系圖ヲ編纂セシム、寛永諸家系圖傳、寛政重修諸家譜ノ如キ是ナリ、其他私撰ノ氏族志アリ、藤原公定ノ尊卑分脈、土橋氏ノ諸家知譜拙記、及ビ水戸藩ノ諸家系圖纂ノ如キ是ナリ、

名稱

〔日本後紀桓武〕延暦十八年十二月戊戌、勅天下臣民、氏族已衆、○中欲據譜牒、多經改易、○下

〔史記十三代世表〕大史公曰、○中余讀謀記、索隱曰、謀音牒、牒者、記系諡之書也、黃帝以來、皆有年數、稽

其歷譜牒、終始五德之傳、○下

〔日本書紀持統〕五年八月辛亥、詔十八氏、○註上進其祖等纂記、

〔釋日本紀十五〕纂記

〔古史徵一夏〕持統天皇紀に、五年八月辛亥、詔十八氏、○註上進其祖等纂記と見えたる、纂記を都

訓べし、即いはゆる系圖と聞えたり、今本に墓字に誤りて、ガキツキアミと訓るは非なり、今は字も訓も釋紀に據りて正しつゝ、さて系圖をも此に據て、都岐夫美と訓べし、字書に系者、連也、繼也、緒也、と見え、また圖書者、文釋紀、または年中行事秘抄などに引たる、高橋氏文と云物あり、岩籍也、と有ればなり、○中略

鹿六鴈命の裔の高橋氏の事を記せる文なるが、甚珍しき事實ども見え、餘の書にも氏文てふ

纂記